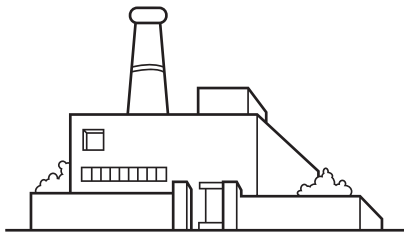


クリーンセンター建設に向けて



クリーンセンター建設には、みなさんのご理解とご協力が必要です。

今月号では、8月10日におこなわれた第4回清掃センター建設審議会の内容とクリーンセンターについてのQ&Aを紹介します。

第4回清掃センター建設審議会【8月10日(月)】では、次のことを協議しました。

●先進地視察のまとめについて

●クリーンセンター施設のコンセプト・目標について

第2回、第3回審議会においては、8・9月号でお伝えしたとおり先進地視察(枚方市・橿原市・尼崎市)をおこないました。3施設とも最新の設備を設置した施設であり、臭いなどもなく、クリーンな都市施設として建設されていることを確認しました。そこで第4回審議会では、視察した3つのクリーンセンターについての視察調査結果をまとめ、本市が目指すクリーンセンターのコンセプトと目標について審議をしました。

●候補地視察のまとめについて

●クリーンセンター立地のキーワード・コンセプトについて

●クリーンセンター建設に向けての目標について

第2回におこなった候補地視察について視察結果をまとめ、これからの審議会においての候補地選定について必要なキーワードなどを抽出し、クリーンセンター建設に向けての目標を審議しました。

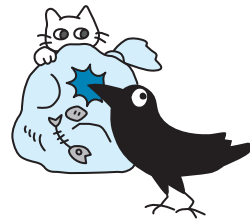
■ クリーンセンターQ&A ■

Q. ごみ処理やリサイクルに係る費用はいくら？

A. ごみ処理やリサイクルに係る費用は大きく分けて2つに分けることができます。一つはクリーンセンター建設やリサイクル施設建設に係る費用で、イニシャルコストとよばれています。もう一つが、収集運搬やクリーンセンター運転、埋立処分費や人件費などの費用でランニングコストとよばれており、全国平均で1tあたり約4万円程度必要となります。そのほか、クリーンセンターの炉内耐火物や余熱利用のためのボイラー設備などの定期的な点検整備に使用するオーバーホール費用が必要です。このような必要経費を少しでも抑えるためには、ごみの減量が欠かせません。市では、3R【リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再資源化)】を中心として、さまざまな事業や啓発をおこなっています。みなさんも、3Rにご協力ください。

Q. 生ごみ(燃やすごみ)を出すときのカラス対策を教えてください。

A. カラス対策の実施例としては、カラスを脅かすカラスの模型や光るテープやCD、そのほか釣り糸や針金などがありますが、カラスは高い学習能力があることがわかっており、長く効果があるとはいえません。カラスは視覚で食べ物を探しているとされており、有効的な方法としては、ごみにネットなどをかぶせ、生ごみとカラスを遮断する方法があります。そして、みなさん一人ひとりが生ごみを減らす努力をしていただき、ごみの分別と時間などのルールを守っていただくことが必要不可欠です。



問合せ まち美化推進課 清掃センター推進室

☎75-1215 Fax72-3900

E-mail: clean-center@city.kizugawa.lg.jp